

ASEAN 大使通信

第 35 回 ASEAN 関連首脳会議の成果

2025 年（令和 7 年）10 月 31 日



日 ASEAN 首脳会議

（2025 年 10 月 26 日、於クアラルンプール、ASEAN 事務局提供）

本年のマレーシア議長国下での ASEAN プロセスの総括として、10 月 26 日から 28 日までクアラルンプールで ASEAN 関連首脳会議が開催されました。日本からは、10 月 21 日の就任直後の高市早苗内閣総理大臣が出席し、外交デビューを飾りました。私はクアラルンプールに先乗りして成果文書交渉を行い、一連の会議にも同席して、ASEAN 外交の重要性を現場で改めて実感しました。

今月はそれに先立って、ASEAN 各地で多数の行事が開催されました。10 月上旬は、ASEAN 代表部と当地シンクタンクの共催で、日 ASEAN 安全保障協力セミナーをジャカルタで開催しました。中旬は、カンボジアのプノンペンに出張して日 ASEAN 防災閣僚級会合に参加し、ハノイでは日 ASEAN スポーツ大臣会合、クアラルンプールでは AZEC 閣僚会合が開催されて ASEAN 代表部から担当官が参加しました。

今回の大使通信では、本年のハイライトである ASEAN 関連首脳会議の成果を中心に、ASEAN 外交の方向性を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



日 ASEAN 安全保障協力に関する講演会
(2025 年 10 月 8 日、於ジャカルタ市内 FPCI ホール)

●日 ASEAN 安全保障協力に関する講演会

10 月 8 日、ASEAN 代表部と当地シンクタンク FPCI の共催で、湯澤武・法政大学教授をジャカルタに招き、「日本の ASEAN との安全保障協力：変遷・課題とインド太平洋の地域秩序への意味合い」をテーマに[講演会](#)を開催しました。ハイブリッド形式で行われ、当地外交団や ASEAN 事務局関係者、研究者など 120 名以上が参加しました。

湯澤教授からは、「防衛協力強化のための日本・ASEAN 閣僚イニシアティブ（JASMINE）」や「政府安全保障能力強化支援（OSA）」をはじめ、日 ASEAN 安全保障協力の進展や課題、今後の見通しについて、[包括的な内容のプレゼンテーション](#)がありました。

私は[開会挨拶](#)で、自由で開かれたインド太平洋（FOIP）とインド太平洋に関する ASEAN アウトルック（AOIP）は本質的原則を共有しており、日本は OSA をはじめ様々な政策を通じてその双方を推進することで、ASEAN の安全保障に貢献していくとの決意を述べました。



日 ASEAN 防災閣僚級会合後の ACE・ERAT 両事業完了式典
(2025 年 10 月 16 日、於プノンペン、AHA センター提供)

●日 ASEAN 防災閣僚級会合

10 月 16 日、カンボジアのプノンペンで ASEAN 関連防災閣僚級会合が開催されました。日本の代表団長は鎌原宜文内閣府審議官が務め、内閣府、ASEAN 代表部、在カンボジア日本大使館、[アジア防災センター \(ADRC\)](#)、[日本防災プラットフォーム](#)に所属する日本企業など多数が参加しました。

[日 ASEAN 防災閣僚級会合 \(AMMDM+日本\)](#) では、ASEAN 側から、防災分野での日 ASEAN 協力の進展を歓迎するとともに、二国間協力の拡大を含めたさらなる協力の要請がありました。さらに、今回採択された [ASEAN 防災作業計画 2026-2030](#) を踏まえた次期日 ASEAN 防災行動計画の策定についても意見交換を行いました。会合後には、ASEAN 防災人道支援調整センター (AHA センター) の主催で、日 ASEAN 統合基金 (JAIF) を通じて支援した [ACE \(リーダーシップ研修\)・ERAT \(緊急対応チーム研修\) 両事業の完了式典](#) も開催され、ASEAN 側から改めて謝意が表明されました。

同日の晩、ASEAN 加盟国と日本企業 10 社の関係者を招いての「防災ネットワークタ食会」を開催しました。防災分野での日本企業の技術と経験を今後の日 ASEAN 協力の活用していく上で、大変有意義な機会となりました。



日 ASEAN スポーツ大臣会合
(2025 年 10 月 17 日、於ハノイ、スポーツ庁提供)

●日 ASEAN スポーツ大臣会合と AZEC 閣僚会合

10 月 17 日、ベトナムのハノイで[日 ASEAN スポーツ大臣会合](#)が開催されました。日本からは河合純一スポーツ庁長官がベトナムとの共同議長として出席し、2023 年の前回国会で採択された「チェンマイ宣言」の優先協力 5 分野の報告や[共同声明](#)の採択が行われました。会合のサイドイベントとして、「ASEAN-Japan Sports Exchange 2025」を日ベトナムが共催し、日本からは 9 社がブース出展して、河合長官が各国大臣等に各社の取組を紹介しました。

同 17 日、マレーシアのクアラルンプールでは、全 AZEC パートナー 11 カ国と国際機関の出席を得て、[第 3 回 AZEC 閣僚会合](#)が開催されました。日本からは、武藤容治大臣、小林史明環境副大臣、山田滝雄 AZEC 担当大使が出席しました。日本側からはこの 1 年の AZEC の取組や成果について報告し、ASEAN 側からは各国の事情に応じた多様な道筋の重要性やエネルギー移行の政策・取組について発言がありました。[ERIA](#)、ACE、[ADB](#)、[IEA](#) からも関連の活動報告があり、AZEC アドボカシーグループ（AZEC 賢人会議）からは[提言書](#)が AZEC 閣僚会合議長に手交されて、会合の成果として[共同声明](#)が採択されました。



日 ASEAN 首脳会議前の高市総理とグスマン東ティモール首相の挨拶
(2025 年 10 月 26 日、於クアラルンプール、内閣広報室提供)

●日 ASEAN 首脳会議

そして、10 月 26 日～28 日にはクアラルンプールで [ASEAN 関連首脳会議](#)が開催されました。

25 日夜に高市早苗内閣総理大臣が到着し、トランプ大統領と最初の日米電話首脳会談を行いました。翌 26 日に [日 ASEAN 首脳会議](#)と [アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合](#)に出席しました。さらに、同志国の首脳である [マルコス・フィリピン大統領](#)、[アルバニージー豪州首相](#)、[ASEAN 議長国マレーシアのアンワル首相](#)との二国間会談を行いました。また、日 ASEAN 首脳会議の会場では、アンワル議長の紹介で、各国首脳とも一人一人と短時間懇談・挨拶しました。

今回の会議出席で、高市総理は各国首脳との間で信頼関係を構築するとともに、自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の推進に向けて、日 ASEAN の協力を一層強化・深化することを確認しました。また、地域・国際情勢についての日本の立場をしっかりと発信しました。強行日程での高市総理の参加は、各国首脳に ASEAN 重視の姿勢を印象づけ、ASEAN 側からの日本への期待感と評価を高めることができました。



EAS 首脳会議（2025 年 10 月 27 日、於クアラルンプール）

●ASEAN+3 首脳会議、RCEP 首脳会議、EAS 首脳会議

10 月 26 日夜には高市総理がトランプ米国大統領訪日準備のため帰国し、入れ替わりで茂木敏光外務大臣が到着しました。茂木外務大臣は、翌 27 日の [ASEAN+3 首脳会議](#)、[RCEP 首脳会議](#)、[東アジア首脳会議（EAS）](#) に出席するとともに、[ベトナムのチュン外務大臣](#)、[インドのジャイシャンカル外務大臣](#) との二国間外相会談を行いました。

茂木外務大臣は一連の会議・会談を通じて、日本が新政権の下でも、ASEAN 主導の地域枠組みを重視していること、FOIP を一層推進していくことを、地域・国際情勢についての日本の立場と共に発信しました。

私は 10 月 26 日の日 ASEAN 首脳会議、27 日の ASEAN+3 首脳会議と EAS に同席し、各国首脳との挨拶や会議での対応を間近で補佐することができました。首脳や外相が直接対面で挨拶や協議を行い関係を構築することは、その後の協力関係を進める上で大切な基盤になると感じました。また、26 日の開会式では [東ティモールの ASEAN 加盟式典](#) に臨席し、28 日の [閉会式](#) では来年の議長国フィリピンのテーマ”Navigating our Future, Together.”の発表に立ち会いました。



EAS 成果文書交渉議長のサラ・マレーシア ASEAN 常駐代表と EAS 会場で
(2025 年 10 月 27 日、於クアラルンプール)

●ASEAN 関連首脳会議を振り返って

今回の ASEAN 関連首脳会議では、私は総理と外務大臣の到着に先立って 10 月 22 日夜にクアラルンプールに入り、ASEAN 側と成果文書交渉に当たりました。

長時間の交渉を経て、日 ASEAN 首脳会議では、日本が ASEAN との連携を一層強化して FOIP を推進していくために重要な基盤となる [「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック \(AOIP\) の更なる推進と実施に関する首脳共同声明」](#) を採択しました。また、本年 20 周年を迎える EAS では、会議開始の 1 時間前まで交渉を続けた結果、EAS の戦略的意義を確認・強化し、AOIP への支持を初めて盛り込んだ [「EAS20 周年に関するクアラルンプール宣言」](#) と、EAS の枠組みでの防災への取組をさらに推進する [「災害予防・対応に関する首脳声明」](#) の 2 本を採択することができました。

ASEAN 関連首脳会議の成果は、このような個々の合意を達成し具体化することで実現するものです。今後も ASEAN のリーダーシップを後押しすることで、日本をはじめ地域と世界に平和と安定、繁栄をもたらしていきたいと思います。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦